

訪問看護業務を軽減するための ITの活用

社団法人 鶴岡地区医師会
訪問看護ステーションハローナース
所長 長谷川典子

「ハローナース」の概要

- ・ 1996年4月に鶴岡地区医師会が開設
- ・ 本部(鶴岡市内)と、4箇所のサテライト(本部から30～40Km地点)
- ・ 訪問看護師13名
- ・ 登録利用者数 のべ1,162人(2005年11月現在)
- ・ 毎月の利用者数は、150人前後
- ・ 鶴岡地区医師会立の訪問リハビリステーション(2002年4月開設)を、今年4月から統合し、訪問看護と訪問リハビリを総合的に提供している

当訪問看護ステーションのカバーエリア

- ・ 1市6町村(今年10月1日の合併後は1市1町)
- ・ 人口約16万人
- ・ エリアの高齢化率: 29%
- ・ 高齢者のいる世帯割合が高い(朝日村78.4%、羽黒町75.5%、櫛引町、藤島町70.1%など)
- ・ 脳梗塞で寝たきりの在宅患者が多い



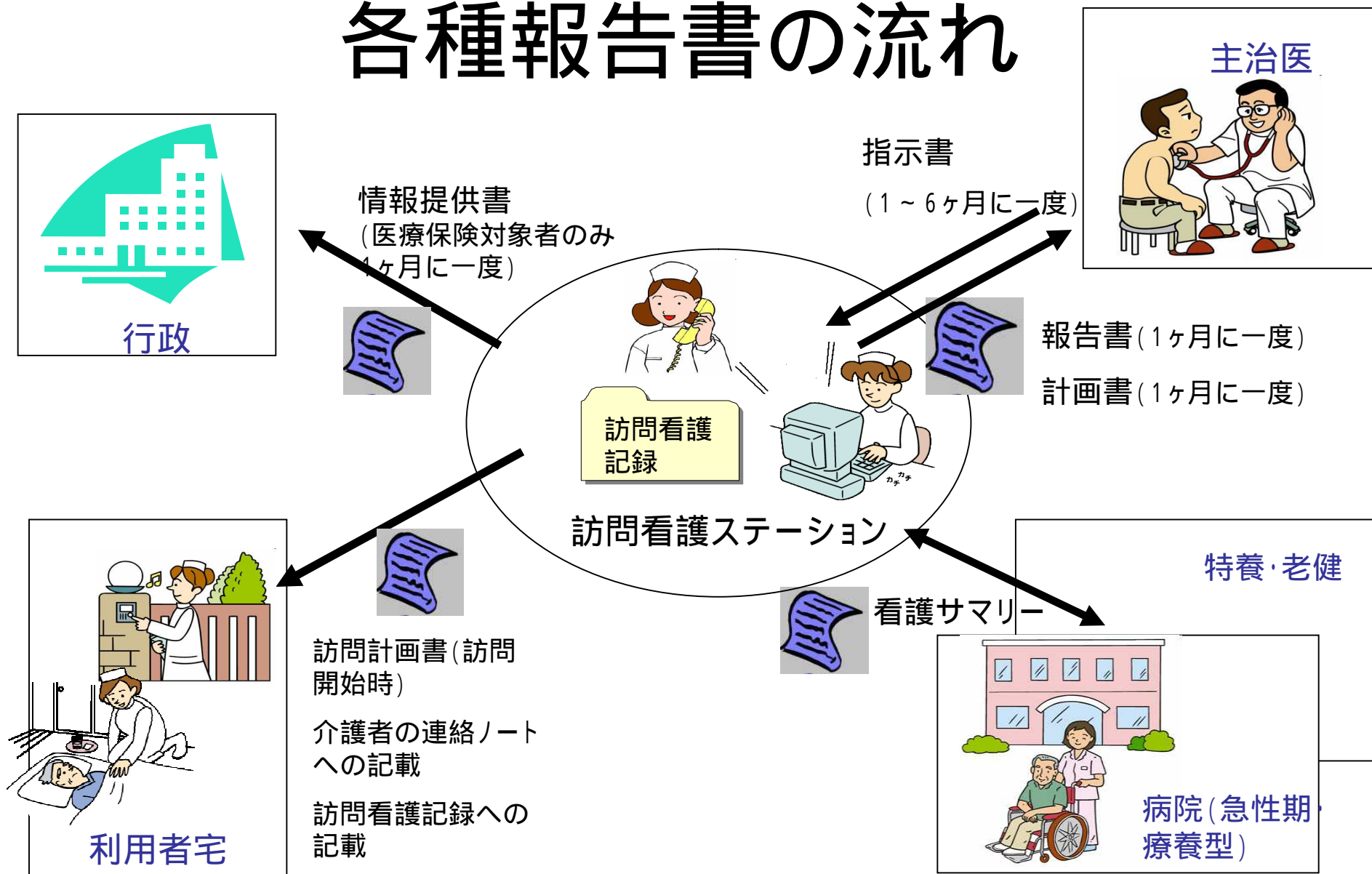
訪問看護師は記録や書類作成、 入力作業に追われている

- 訪問から事務所に帰ると看護記録を記載
- 利用者宅から徴収した利用料金の計算と入力
- 毎月の訪問看護計画書と報告書、さらに情報提供書等の書類作成



撮影: 秋山 美紀

各種報告書の流れ



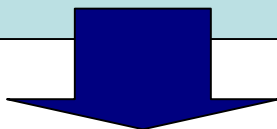
訪問看護における報告文書作成ツールに 求められた要件

毎月発生する文書

- ・ 主治医への訪問看護計画書・報告書
- ・ 行政への医療保険情報提供書

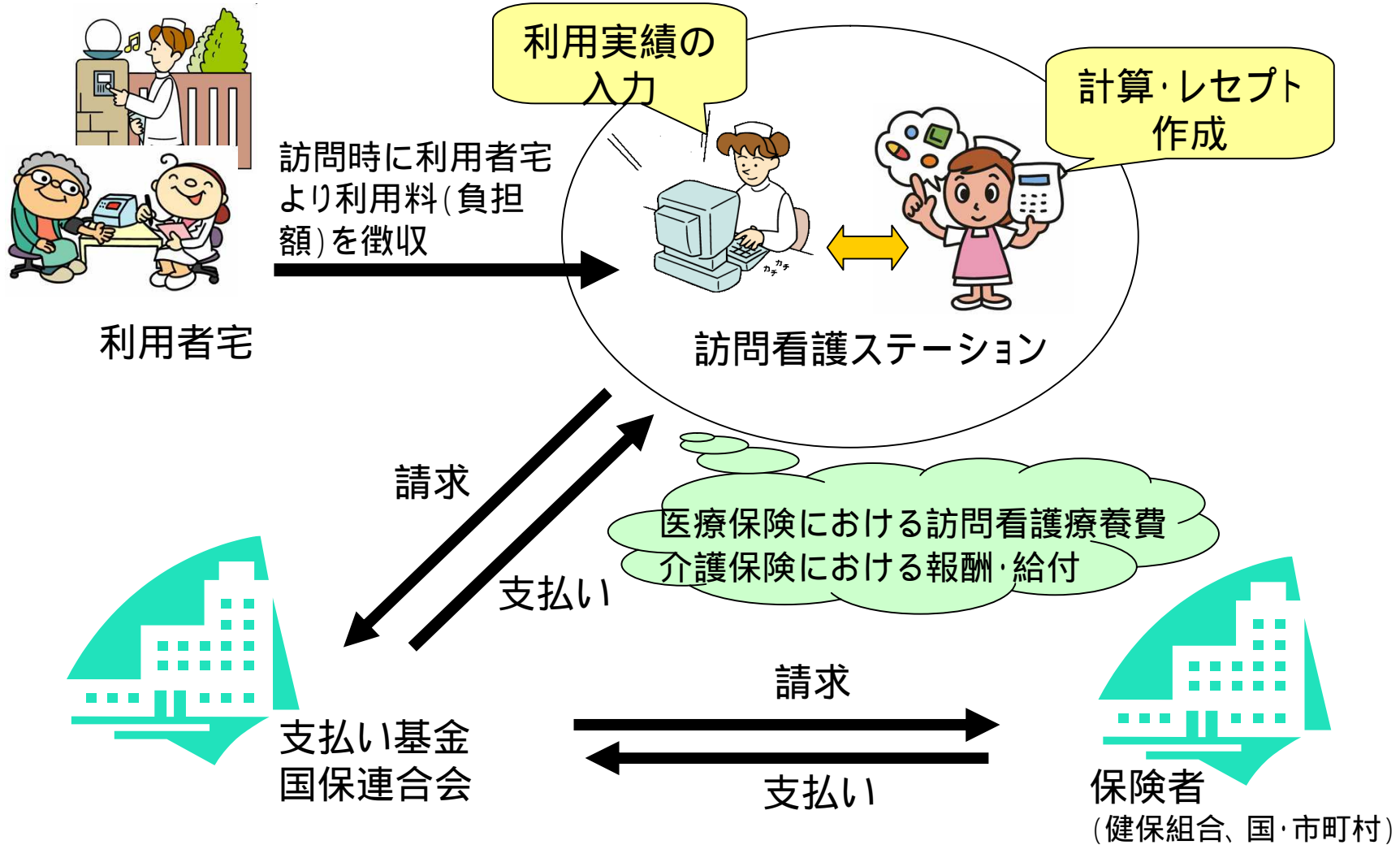
不定期で発生する文書

- ・ 看護サマリー



- ・ 多様な文書を機能的に作成できるソフトを導入する必要があった
- ・ 当ステーションのカバーエリアは広域であり、4箇所のサテライトをカバーできるネットワークが必要だった
- ・ 主治医、病院(急性期、療養型)、介護施設(特養・老健)等、様々な機関との協力・連携を視野に入れる必要があった

訪問看護利用料の流れ



訪問看護利用料金(実績)の入力作業

- 毎回の訪問看護に関して、訪問時間・同行者・徴収してきた金額等を入力
 - 保険の種類、難病や癌末期等によって金額パターンが異なる
 - 訪問のたびに現金徴収する必要があるため、
 - 利用者宅につり銭を持参する必要がある
 - ステーションに戻ると、手持ちの紙幣と貨幣の種別までを記載する必要がある

日々の金銭管理が複雑



看護師の負担を軽減するような機能的なツールが求められていた

訪問実績の入力画面

利用者宅から徴収した金額

訪問種別の識別

入金する紙幣・貨幣
について入力

未収金

金銭のチェック
ができる

訪問実績入力フォーム
「訪問実績」のデータ登録画面です。

1. 実績日と担当者を選択して下さい。

実績日 担当者名

2. 利用者名と料金を入力して下さい。

連番	利用者名	開始	終了	同行者	看護料	緊急	特別	利用 600	交通	超過	死 後	利用料	未納
*						☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐

☐ 項目の挿入

3. 未納分で当日入金したものを選択して下さい。

入金	利用者名	利用料	担当者名
☐			

合計

4. 金種を入力して下さい。

10,000	
5,000	
2,000	
1,000	
500	
100	
50	
10	
5	
1	
合計	0

5. 調整額とコメントを入力して下さい。

調整額

コメント

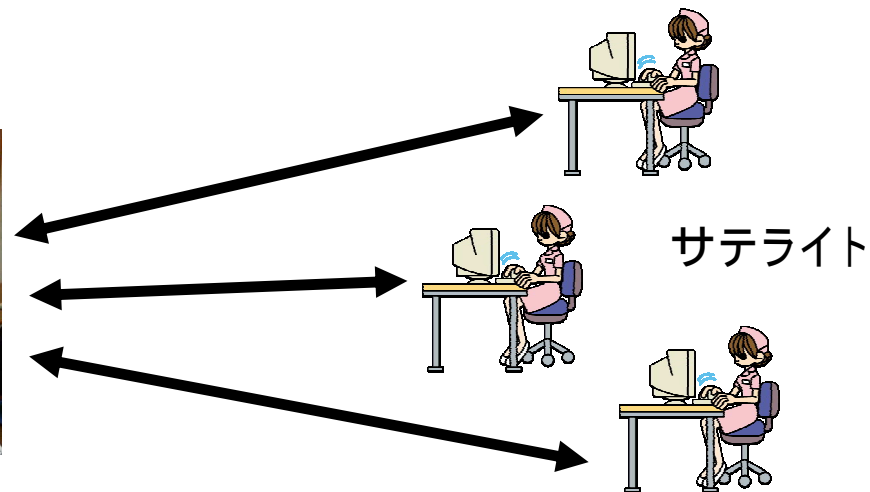
6. 合計金額を確認して下さい。

合計金額	0
	(+2,000)

開発したツールの特長

- 看護師の事務作業がコンピュータを有効利用することで軽減
- 各種報告書の作成が容易
- 金銭管理の入力作業の軽減
- サテライトの看護師もネットワーク上で本部のサーバーへ実施入力が可能に

「ハローナース」
本部



「ハローナース」における新ソフトの 運用スケジュール

- ・ 開発は11月中旬でほぼ終了
- ・ ハローナースにおいてデモ実施(11月12日)
- ・ 11月後半から運用開始の予定
- ・ 今後は、他のサービス事業への利用拡大に取り組む



デモ

- この後は、開発したソフトのデモを実施し、実際にご覧いただきます